

創業70周年企業紹介



代表取締役社長 中桐哲也氏

中桐石油株式会社

創業 ● 昭和26年 4月 4日

代表者 ● 代表取締役社長 中桐哲也

所在地 ● 津市久居新町2145番地の 4

電話番号 ● 059-255-3165

事業内容

- ガソリンスタンドの運営、燃料・石油製品の販売
- 自動車の点検整備・車検・修理・钣金塗装、自動車の販売・買取

これまでの歩みと経歴

- 昭和26年 4月 手動ポンプ式計量器による燃料販売店として創業
- 昭和40年 12月 日本石油株式会社と特約店契約締結、飛岡給油所(現ENEOS久居SS)を新設
- 平成 8年 5月 久居インター給油所(現ENEOS Dr.Driveセルフ久居インター-SS)を新設
- 平成12年 4月 中桐哲也が4代目社長に就任
- 平成20年 9月 Dr.Drive久居インター-SSをセルフサービスSSに改装
- 平成23年10月 自動車钣金塗装工場を開設
- 平成23年12月 中古車の売買、中古車輸出を開始
- 令和元年 6月 新車販売を開始
- 令和元年 9月 2店舗に自家発電装置を設置し「住民拠点SS」に指定される
- 令和 3年 2月 久居SSをセルフサービスSSに改装
- 令和 3年 5月 リモート立合い車検を開始



自動車展示場とENEOSセルフ久居SS

●28歳で社長就任

4代目社長を務める私、中桐哲也は、旧久居市に生まれ育ち、県立津高校を卒業後、福井大学工学部材料化学科に進学しました。将来は化学研究者になる事が夢でしたが、大学時代に、先代社長の実父(故人)が不治の病を患い、長男である責任感から夢を諦めて家業を継ぐ事を決心しました。

大学卒業後、当時の日本石油株式会社に新卒入社し、その後、大手石油販売会社に転職し、合計4年間は他人の飯を食べる生活をしました。その間に現在の妻と結婚し、27歳で完全帰郷し、妻と共に弊社に入社しました。そのわずか1年後には、先代に促される形で代表取締役社長に就任しました。

●変化できる者だけが生き残る

『生き残ることが出来るのは、最も強い者でも賢い者でもなく、変化できる者である。』というダーウィン進化論の名言がありますが、企業においても全くその通りではないかと思えます。

28歳という若さで社長に就任した当時は不安だらけでしたが、一番活力と柔軟性のある青年時代に経営を任せてもらったお陰で、柔軟な精神で工夫しながら精力的に会社を変化変容させて生き残る事ができました。もし、社長就任が40代以降だったら、激動の時代に様々な変化を受け入れられなかったのではないかと思います。

●新規事業で経営拡大

社長就任後から現在までの21年間、様々な新規事業を取り入れながらも、最大5店舗あった直営ガソリンスタンドのうち3店舗を閉鎖し、現在は2店舗になりました。拠点は減りましたが、残ったガソリンスタンドに併設して自動車販売展示場、車検整備工場、钣金塗装工場などを立ち上げ、その度に社員は配属転換、増員もして経営規模を拡大させてきました。

創業70周年という節目にもなった今年は、民間車検工場を新設し、車検事業の拡大により、さらに会社を成長させる事ができました。

●365日、現場社長

実は私は、この1年間ほど1日も休まずに作業着で出勤しています。社内では自動車整備士として一番経験のある技術者でもあり、社員を直接指導監督する事もあります。『みなし公務員』とされる自動車検査員として、自社の検査場で検査を担当する日もあります。

社長の私が現場を掌握していることは、的確な経営判断に大いに役立っていると自負しています。

●燃料がなくなっても……

紆余曲折の21年間、本当に様々な苦労がありましたが、その全てが発展の糧となりました。極端な話ですが、近い将来、全ての自動車が電気自動車になり、ガソリンスタンドでの燃料販売がゼロになっても、弊社は規模を縮小することなく、社員数を減らさずに生き残る見通しがあります。燃料がなくなっても自動車がある限り、我が社を存続させる仕組みと基盤が完成しているのです。

数年以内には、社名から『石油』の文字を無くし、新しい社名で更なる挑戦を続け、盤石な経営基盤で次世代に繋げていきたいと考えています。